

## 市長と“みらい”

## を語る集いを開催

『市長と“みらい”を語る集い』を2月20日、小絹コミュニティセンターで開催しました。

当日は、13人の皆さんが参加してください、市の将来について、市長と意見交換を行いました。

懇談会でご提言いただいた内容の一部をご紹介します。

【小絹地区・男性】私は昨年6月まで福島にいた。東日本大震災から5年が経ち、被災地以外の人々の記憶から被災地への意識がだんだん薄れてきていると思う。しかし現実には、未だ復興道半ばだ。そこで、福島を応援する意味で、福島の特産物などをみらいフェスタなどのイベントで紹介するなど交流をしてみてはどうか。

▷会場の様子



【絹の台・男性】妻が子育てボランティアをしている。私自身は昨年定年を迎えた。次世代を育てる事が我々シニアの役目だと思うので、子育てボランティアは素晴らしいアイデア。しかしながら、ボランティアは個人の善意に基づくもので、組織としてすぐくもろい。そこで、長く活動を継続させるため補助金を出すとか、なんらかの

## 市戦没者追悼式を行いました

市と市遺族会が主催する戦没者追悼式が3月3日、きらくやまふれあいの丘世代ふれあいの館で行われました。

この日は、片庭市長や遺族の皆さまをはじめとした関係者約250人が参列し、戦没者に黙とうと白菊をささげ、平和を祈念しました。また、市遺族会を代表して豊島美智子さん(板橋)が追悼の辞を述べました。

▷提言する参加者



収益性を持たせる必要があると思う。また一方で、高齢者だけでなく若者も取り込んで、活動をしていく。その仲介を行政が行ってはどうか。



献花する市遺族会の豊島さん

## 第37回地域安全茨城県民大会 防犯功労表彰

第37回地域安全茨城県民大会において、防犯パトロールなどの日頃の継続した防犯活動が認められ、常総地区防犯協会伊奈支部(稲葉茂支部長)が地域安全功労団体として、常総地区防犯協会伊奈支部の市村輝夫氏(板橋)と常総地区防犯協会谷和原支部の寺田正弘氏(上小目)が優良防犯連絡員として、それぞれ茨城県防犯協会表彰を受賞されました。



受賞した皆さん

## 陽光台小の富山さんと木幡さん 下水道促進コンクールで「知事賞準特選」に

下水道の促進と理解を深めてもらうことを目的とした「平成27年度茨城県下水道促進週間コンクール」の表彰式が1月21日、茨城県庁で行われ、応募総数5万6235点の中から、陽光台小学校の富山亮さん(6年)と同校の木幡妃葵さん(5年)の作品が、新聞部門において見事、知事賞準特選を受賞されました。お二人の今後の活躍を期待しています。



▷受賞した富山さん(左)と木幡さん(右)